

## 【第2回 佐賀県鳥インフルエンザ対策本部会議】 12月5日

農林水産部長／中部家畜保健衛生所で、2種類の遺伝子検査を実施。21時15分H5亜型の遺伝子を検出。現在、もう1種類の検査を実施中。鳥インフルエンザウイルスと仮定し、準備を進める。2つの結果がそろい次第、農林水産省に判定を依頼。疑似患畜決定の連絡を受け、翌朝から殺処分などの防疫措置を開始。

現在の準備状況について。防疫作業には、県職員、市町、JA等を動員。1クールを8時間とし、第1クール目は約234名。武雄市、唐津市、佐賀市の集合場所からバスで山内町のサポートセンターに移動。サポートセンターで着替え、作業内容を確認し、発生農場へ。2時間の作業後、2時間休憩をとる。第2、第3クールも同程度の動員を予定。

移動制限区域内となる、発生農場から10km圏内の16農場に消石灰を緊急配布する。6日午前中に、配送拠点3か所に配送。そこから、順次養鶏農家に配送する。

21時現在、県内177戸の農家のうち、連絡がつかない農家が2戸。関係機関養鶏業者等には、全て連絡済み。

制限区域図を作成し、移動制限区域内に2農場、搬出制限区域内に14農場を確定。疑似患畜決定の告示を行い、関係機関に連絡し周知する。

防疫物品の調達は、15時から備蓄資材の搬送開始を業者に依頼。備蓄資材、仮設トイレ、殺処分にかかる炭酸ガスは、21時時点で15/17台のトラックが到着。

県土整備部長／消毒ポイントは、3か所で設置を進めている。養鶏関係車両向けは、有田町の泉山防災広場、武雄市の白岩運動公園駐車場。一般車両向けは、武雄市の県道波佐見-山内線の栗原建設前付近。翌朝から消毒作業を開始する。

長崎県側では、4か所を設置すると聞いた。

政策統括監／本日14時57分にコールセンターを設置。22時時点で、2件の相談があった。先週、養鶏場から鶏卵を仕入れたが大丈夫かとの問い合わせ。大丈夫と回答した。

県民環境部長／6日から、県内のスーパー等の牛肉と卵の価格調査を実施。また、巡回も行い、風評被害につながる不適正表示の監視指導を行う。

農林水産部長／本日から相談のコールセンターを設置した。受付時間は8時半から17時15分。7日までは22時まで対応する。

技術的なことから心のケア、食の安全など、各種の専門相談窓口を設置して対応する。

知事／心のケアは、殺処分に関わる県職員に対して。大変ですから。

農林水産部長／先ほど、殺処分後に埋却する場所を試掘していると報告を受けた。

防災監／本日 20 時、小松市長も同席し、地元の皆さんに説明、理解を得た。20 時 20 分からは、農場の緊急消毒。埋却地は、現在掘削中で 1/3 ほど進んだ。

防疫物品はサポートセンターに到着した。現地の島内副本部長が、さらに山の中の現場まで搬送する計画を作り、順調に進んでいる。炭酸ボンベは重い時間がかかるが、殺処分の開始までに完了させたい。

小松市長／地元の説明会に行き、皆さんの理解を得られた。引き続き、県と連携し、迅速に対応する。

知事／私も現場に行った。当事者の皆さんがショックを受けていた。お互いさまだから、励まし合いながら前を向いていけるよう、対応をお願いしたい。

小松市長／会場では、同じ地区の養鶏仲間を心配されていた。私からも、みんな心を痛めている、お互い協力しましょうと話した。知事の影響を受け、引き続き気をつけて対応する。

知事／現地本部の近くにサポートセンターがある。ここは、体育館で防護服を着用する場所。そこから車で移動し、途中で消毒ポイントがあり、さらに山道を進み、車を停める場所に着く。そこから徒歩で、50m ほど上ると農場外テントがある。このテントがベースキャンプで、最終装備し 100 メートルほど徒歩で移動すると埋設ポイントがあり、その近くに事務所、宿舎、鶏舎がある。山の中で暗いが、建設業協会のライトで明るくなっている。

防災監／投光機が 20 台くらいあるため、農場自体は非常に明るい。徒歩の部分が暗いため、安全対策を確認する。

知事／2 種類の遺伝子検査の関係は？

農林水産部長／従来の検査方法と最新の検査方法の 2 種類を実施する決まりがある。

1種類が陽性になり、ほぼ確定だと見立てている。

知事／別のアプローチで検査し確認しているので、2種類目も検出される可能性が高いと。明日、5時頃から開始する準備を進める。何かあれば、別途指示をする。

防災監／殺処分を前提に進め、何かあれば中断する。

知事／長崎側も同じ対応をしている。風評は前ほどではない。

県職員は、現地に明日3時過ぎに集合するのか。

農林水産部長／3時半到着予定。

知事／今日は有田のときほど寒くないが、防寒対策を。

農林水産部長／資材の中にストーブを準備し、暖を取れるようにしている。

知事／これまでの2回より山深いところにあり、行くのに時間がかかる。採卵鳥は、初めてなので、軌道に乗るまでは手間取るだろうが、無理のない対応を。埋設のポイントが近いのは利点だ。

明朝5時の開始で話を進めておく。5～7時の状況を踏まえ、朝9時頃に3回目の会議をする。状況が変われば急遽招集して変更する。

山の中の作業だから、事故が起こらないようお願いする。